

法人（事業所）理念		児童の居場所づくりを理念に活動を行っています。新しいことに挑戦するにはまずは失敗も受け入れてくれるという信頼関係を作ること何よりも重んじていき、児童は成長をすることを望んでおり、挑戦できないのは満たされていないという事を信条のもとに支援を行っています。
支援方針		米沢好史先生の愛着障害に対する対応方法を使用していくことで、職員との愛着形成をし、事業所が探索の基地となっていくことをめざします。 また、探索の基地となった後は活動の計画、プレゼン、実施の順に行っていく事で、児童が学びたいことを児童が計画し、人に伝え、実際に体験していきます。 そうした活動の中で総合的に五領域を満たす活動を行います。
営業時間		10時0分から17時0分まで 送迎実施の有無 あり
		支 援 内 容
本人支援	健康・生活	現在、IQを重視される社会から、適応行動を重視する社会へと変換してきています。 中でも、料理をすることは生きていくうえで勉強ができることよりも大事なことで私達は考えています。 まずはお好み焼きなどの簡単に作れるものをお友達と一緒に作ることから始め、料理ができる喜びを知り、そこから作ってみたいものを見つけ、実施していく。 そうしていきながら、生きる力をはぐくめるように支援を行っています。 現在不登校の児童でお弁当を持参されない方は、びーふらっとにて一緒にお昼ご飯を作ることで、自分でもできるということを経験したり、もっとやってみたいという気持ちをはぐくみながら自己肯定感を上げながらも生きる力を育てています。
	運動・感覚	発達障害を持たれている児童の多くには、感覚が鈍磨であったり、その逆に感覚が鋭敏すぎるがゆえにストレスを感じていることがあります。 また、中には運動に苦手意識がもたれている児童もいます。 そうした児童のために、イヤーマフなどの補助具の提案を行うことで日常生活のストレスを軽減し、 スラックラインやローラースケートなどの道具を通して楽しく活動ができるように支援を行うことで、運動に苦手意識を持っている児童も楽しく活動ができるよう支援を行っています。
	認知・行動	発達障害をお持ちの児童の中には、完璧主義・認知の歪みゆえにふとしたことで、傷ついてしまうことがあります。 アドラー心理学の「〇〇にこしたことはない」「できたらいいなあ」と言った失敗した時などの心の整理の付け方を一緒に学ぶことで新しいことにもチャレンジできるよう支援を行っています。 また、公共施設を使ったり、ハイキングやサイクリングなどを通して集団活動をする中で、他の人と自分のずれがあった時などにどうしてそうなのかを共に考えることで、より社会に適応できるよう支援を行っています。
	言語 コミュニケーション	体験活動を主体としてすべての領域が網羅できるように支援を務めています。 その中でも、体験活動をするときに必ず必要になるのが、指示を聞く・わからないことを質問をすることです。 特にわからないことを質問する力が今不足している児童が多数みられていますが、その一番の原因が、わからないと怒られてしまうという恐怖からくることが多くあるようです。 職員が体験活動と一緒に楽しむ、体験したことを職員に報告することができる。そうやって人間関係を作っていきながら、しゃべることへの苦手意識を軽減し、円滑なコミュニケーションが取れるようになるよう支援に努めています。
	人間関係 社会性	職員との人間関係を築くことによって、安心の土台を作り、いろいろな人にかかわる、何事にもチャレンジできるように支援を行っています。 びーふらっとではボードゲームなどのルールのある活動を職員が共にすることにより、職員との信頼関係を形成し、好きな遊びを通してかかわれる人間関係の輪を広げるよう支援を行っています。また、高学年になってくると自分たちで企画を計画し、協力して一つの目的を成し遂げることにより、集団意識をはぐくむ支援も行っています。 びーふらっとではこの信頼関係を一番大事に考えています。 一緒に体験活動を乗り越えることにより、信頼関係を生み、信頼している職員やお友達がいるから新たなことにチャレンジする意欲を生み・実行することでほかの領域も自然と満たすことができるようになって考えています。

家族支援	年に数度保護者様やご兄弟が参加できる活動を行っています。その中で普段の活動の成果を見てもらいながら、どのように過ごしているのか、また児童のお家では見せない新しい一面を知ってもらう機会ともなっています。	移行支援	不登校の児童に関しては、学校や相談支援所と連携を取りながら通学が出来るような体制を取っています。また、学業が遅れて戻れないことを懸念し、勉強ができる時間とスペースを確保しながら学びの時間を確保しています。 卒業間近の児童に関しては就労に関するスキルなどを身に着けるよう個別に支援を行っています。
地域支援・地域連携	地域の様々な公共施設などを使用することにより、地域とのかかわりを持ち、ノーマライゼーションが達成できるよう支援を行っています。また、今後は老人ホームなどの施設などにもかかわる活動を検討しています。	職員の質の向上	職員には定期的に研修会に出向きってもらう、研修用の書籍を購入し、読んでももらう時間を確保していくことで、職員の質の向上を目指しています。
主な行事等	児童が考えた企画を通年で20回以上行っています。（お泊り会、サイクリング、電車での旅行、各季節の行事、魚釣り、調理体験、おやつ作りなどなど） また、児童が立てた計画とは別に毎年行っている活動としては、1月お餅つき、正月遊び2月バレンタイン、節分三月ホワイトデー、ひな祭り四月イースター、お花見、一年生歓迎会5月子どもの日、デイキャンプ、フリーマーケット6月サイクリング7月デイキャンプ、魚取り8月各種課外活動、お祭り準備9月お月見、秋祭り 10月登山 11月楽器演奏 12月忘年会、クリスマス会 等々		